

7月31日～8月11日

3年ぶりのフェス開催で
胆沢ダムや自然を満喫

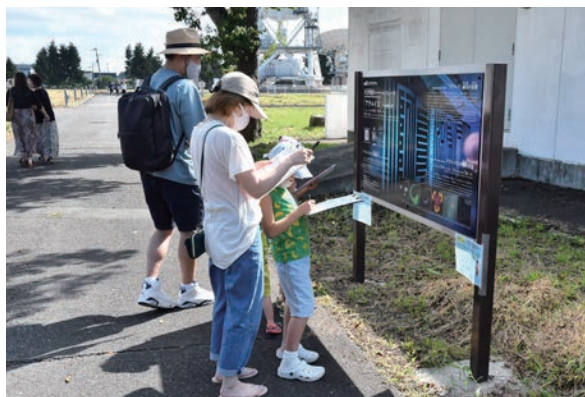


堤体の頂上を目指す参加者たち

3年ぶりとなる「胆沢ダムフェス 2022in 夏」が胆沢ダム周辺で開かれ、胆沢ダム堤体登山体験会やカヌー体験会などさまざまなイベントでにぎわいました。8月2日に行われた堤体登山には、市内外から約20人が参加。参加者らは、上から垂らされたロープを頼りに約200mの急斜面を登り、国内最大級のダムの大きさを体感しました。

8月6日～28日

宇宙や科学の不思議を
体験しながら学ぶ



クイズラリーに参加する親子

国立天文台水沢VLB観測所と奥州宇宙遊学館を会場に「いわて銀河フェスタ 2022」が3年ぶりに開かれました。期間中にさまざまなイベントを分散して開催。クイズラリーや天文台のパネル展示、宇宙の姿の上映、ブラックホール撮影に携わった同観測所の秦和弘助教の講演会などが行われ、多くの家族連れでにぎわいました。

8月1日～28日

市内の観光スポットに
南部風鈴の音色が響く



正法寺の庫裏に飾られた南部風鈴

元地域おこし協力隊の小川ちひろさんがコーディネートした「奥州葉月の南部風鈴めぐり」が、えさし藤原の郷や黒石寺、正法寺で行われました。正法寺では、8月28日の法話会に合わせて南部風鈴を設置。南部風鈴が澄んだ音色を奏でる中、参拝者は典座和尚の特製ドリンクと菓子をいただきながら、法話に耳を傾けました。

8月8日

地方創生の推進に向け連携
J A 2者と包括連携協定締結



農業以外の分野も幅広く連携

市は、岩手ふるさと農業協同組合（後藤元夫会長）・岩手江刺農業協同組合（小川節男組合長）と地方創生に関する包括連携協定を締結しました。連携内容は、農業分野をはじめ、健康づくりや災害対策、暮らしの支援など。将来の担い手確保などの課題解決にも取り組み、今後も活力あるまちづくりを目指した活動が共に行われます。

8月4日

ものづくりの楽しさを
親子で体感



協力しながら模型を制作する親子

県立産業技術短期大学校水沢校と市教育委員会共催の「夏休み親子ものづくり体験教室」が同校で開かれました。市内の親子17人が参加し、部品同士をはめ込んだり接着剤で付けたりしながら、恐竜や昆虫の模型などを完成させました。材料には学生の実習で生じた廃材を再利用。参加者は親子で協力し合いながら力作を完成させていました。

8月16日

3年ぶりに勇壮な舞を披露
観客を魅了する百鹿大群舞



圧巻の演舞を披露する鹿踊団体

えさし夏まつり「みちのく盃盆まつり」が行われ、3年ぶりに百鹿大群舞が披露されました。百鹿大群舞は、江刺鹿踊団体の踊り手が流派を超え一堂に会して踊る江刺を象徴する伝統芸能。一斉に響く太鼓の音と、勇壮に舞う姿は沿道に集まった観客を魅了しました。演舞終了後には、太鼓の音に勝るとも劣らない大きな拍手が送られました。

8月5日～7日

水しぶき上げ真夏の熱戦
カヌージャパンカップ開催



パドルを力強くこぐ千葉悠里さん

カヌージャパンカップが奥州いさわかヌー競技場で開催されました。2年ぶりの大会に、全国から79人の選手が集結。スラロームとワイルドウォーターの2種目で熱い戦いを繰り広げました。地元選手も活躍し、奥州ジュニアカヌークラブ出身の千葉悠里さん（駿河台大学カヌー部）は、日本屈指の急流コースを全力疾漕しました。

8月24日

若者世代のアイデアで
奥州市の課題を解決



班ごとに行われたワークショップ

市の将来を担う世代などのアイデアにより、市総合戦略の推進策の具現化につなげるため、ワークショップ「TNGR」を開催しました。包括連携協定締結企業や協働のまちづくりアカデミー修了生らが出席し、「市の魅力を活かした情報発信、交流機会の創出」をテーマに意見交換を実施。9月以降も開催し、事業を具現化していく予定です。